

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成27年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間(4月～3月)

| | | | |
|------|-----------------------------|-------|-----------------|
| 施設名 | 秋川キララホール | 指定管理者 | 秋川キララホール運営共同事業体 |
| 指定期間 | 平成25年4月1日から 平成30年3月31日まで | 担当課 | 生涯学習スポーツ課 |

1 業務の遂行状況及び収支の状況

| 項目 | 分類 | 年間計画 (A) | 実績 (B) (モニタリング時) | 対計画比率 (B/A×100) | |
|----------------|------------|---------------------|---------------------|--------------------|--------|
| 業務の 遂行状況 | 開館日数 (日) | 308 | 308 | 100.0% | |
| | 延べ利用者数 (人) | 71,513 | 75,007 | 104.9% | |
| | 事業開催 回数 | 必須事業 (回) (=主催事業) | 6 | 6 | 100.0% |
| | | 自主事業 (回) | 5 | 5 | 100.0% |
| 収支状況 | 収入 | 指定管理料 (円) | 68,930,000 | 68,930,000 | 100.0% |
| | | 利用料金収入 (円) | 20,200,000 | 22,256,400 | 110.2% |
| | | 主催事業収入 (円) | 14,090,000 | 13,269,188 | 94.2% |
| | | 自主事業等収入 (円) | 11,340,000 | 10,109,813 | 89.2% |
| | | 共催事業収入 (円) | - | - | - |
| | | その他の収入 (円) | 426,000 | 3,064,936 | 719.5% |
| | 収入計 (円) | | 114,986,000 | 117,630,337 | 102.3% |
| | 支出 | 人件費 (円) | 41,984,000 | 33,389,678 | 79.5% |
| | | 施設維持管理費 (円) | 30,708,000 | 27,517,322 | 89.6% |
| | | 運営管理費 (円) | 26,065,000 | 28,858,702 | 110.7% |
| | | 自主事業関係費 (円) | 16,229,000 | 15,250,005 | 94.0% |
| | | その他の支出 (円) | - | - | - |
| | 支出計 (円) | | 114,986,000 | 105,015,707 | 91.3% |
| 収支 (収入-支出) (円) | | 0 | 12,614,630 | - % | |

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

| | | |
|---|---|---|
| <p>【開館日数・利用者数について】 年間を通し、計画通りに開館できました。下半期は、稼働率が高まり、特に10・11月の市民文化祭、2月の青少年音楽の祭典等を中心に、前年度比で利用者数が3,500人近く増加しました。</p> | <p>【事業の実施状況について】 主催事業はクラシック6件、自主事業は演劇1件、落語2件、フラメンコギター1件、ポップス1件を実施しました。まちづくり推進事業は、クラシック3件、エンタランスコンサート5件を実施しました。さらに育成支援事業として、吹奏楽1件、クラシック1件、ワークショップ2件を実施しました。また、市民参画事業として、合唱、アウトリーチ2件を実施しました。</p> | <p>【収支状況について】 事業関係は、主催事業収入は計画比で94.2%、自主事業等収入は同比89.2%と計画を下回りましたが、利用料金収入が同比110.2%となったほか、経費面で人件費や光熱水費等を削減できたため、収支は12,614,630円の黒字となりました。その他の収入が計画比で719.5%になったのは、人員増員代1,817,640円、友の会会費774,000円等の収入があったためです。</p> |
|---|---|---|

所管課の評価 (指摘事項)

| | | |
|--|---|--|
| <p>【開館日数・利用者数について】 今年度は長期の閉館も無く、年間の計画通りに開館が行えています。利用者数については、計画を上回る来館者数の増加が実現できています。</p> | <p>【事業の実施状況について】 計画どおりに主催・自主事業に取り組んでおり、公演内容もバランスが取れたものとなっています。そのほか、育成支援事業、市民参画事業などにも積極的に取り組むこと、良好な実施状況です。今後も継続して事業を実施してください。</p> | <p>【収支状況について】 全体の収支が12,614,630円の黒字であり、計画比で大幅な黒字になったことは評価できます。ただ、自主事業、主催事業の収入向上が課題となっているため、広報宣伝活動の強化等、引き続き集客に向けた対策を講じて下さい。</p> |
|--|---|--|

2 チェック項目

| 評価項目・評価事項（数値目標） | | 確認資料等 | 指定管理者の自己評価 | 所管課の評価 |
|-----------------|---|----------------------|------------------|--------|
| 受付等の業務 | 施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている | 月報、利用者アンケート、申請書 | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| | 使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている | 月報、申請書 | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| 施設・設備の維持管理 | 消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている | 各種点検結果報告書、実地 | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| | 衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている | 日報、月報、実地 | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| | 備品等を適切に保管・管理している | 備品台帳、実地 | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| | 業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない | 実地 | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| 安全性への配慮 | 安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている | 危機管理マニュアル | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| | 避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている | 実地 | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| | 損害保険等の必要な保険に加入している | 保険証書 | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| 透明性・公平性 | ホームページ等により施設の情報の公開に努めている | ホームページ | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| | 情報公開に対する体制を整備している | 情報公開マニュアル | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| | 利用者の平等な利用が確保されている | 月報、利用者アンケート、申請書 | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| 効果的・効率的な運営 | 苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している | クレーム処理報告書、アンケート | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| | ワンストップサービスの提供等により、施設利用者の満足度向上や利用拡大の取組を行っている | 日報、月報、事業報告書 | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| | 経費削減のための取組を行っている | 日報、月報、事業報告書 | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| | 広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している | 広報紙、チラシ、ホームページ | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| 人員配置・人材育成等 | 事業計画書どおりの人員を配置している | 13人 人員配置計画、実地、出勤簿 | 14人 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| | 事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている | 2回/年 研修マニュアル | 実施回数2回 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| | 障がい者や高齢者の雇用促進に努めている | 3人 人員配置計画 | 3人 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| | 労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている | 実地、出勤簿 | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| 個人情報の保護 | 個人情報を保護するための取組を行っている | 個人情報保護マニュアル | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| | 文書管理を適切に行っている | 保存文書 | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| 事業の取組 | 主催事業・自主事業等の実施により、文化芸術の振興に努めている | 事業報告書、月報、実地 | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| | 市民音楽団体等への支援・育成事業の実施により、音楽によるまちづくりの推進に努めている | 事業報告書、月報、実地 | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| | 市民ボランティア等との協働により音楽によるまちづくりの推進に努めている | 事業報告書、月報、実地 | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| | 市民参画事業（市民合唱団等）の実施により、市民の手による文化芸術の振興に努めている | 事業報告書、月報、実地 | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| | 会員制度等を活用し、市民サービスの向上に努めている | 事業報告書、月報、実地 | 適正 要改善 | 適正・要改善 |
| 環境への配慮 | 省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる | 日報、月報、実地 | 適正 要改善 | 適正・要改善 |

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 1、2の評価に関する所見

| |
|--|
| <p>指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）</p> <ul style="list-style-type: none">・ブログによる事業の周知については、およそ隔月ペースでの更新に努め、主催事業の公演情報掲載を含め、継続して計画的な情報発信をしました。・取組事業の特記事項として、前年度に発足した「秋川キララホール レジデンシャル・アーティスト」制度における取組については、7月にお披露目演奏会及び3月にスプリングコンサートを開催しました。また8月のヨルイチミニコンサートや3月の老人福祉施設でのアウトリーチへも出演して活動の幅を広げ、市内音楽家の育成と音楽活動による地域還元を本格的に開始しました。・市民参画事業の成果として、8月の「フレッシュ名曲コンサート 日本フィルハーモニー交響楽団演奏会 ～真夏の第九～」（指揮は西本智実氏）において、総勢130人のキララ合唱団が第九合唱団として共演しました。市制施行20周年を祝った同演奏会は満員の来場客となり、秋川キララホールの歴史に刻まれるべき記念すべき公演となりました。 |
| <p>所管課による所見（指摘事項など）</p> <ul style="list-style-type: none">・事業の周知について、今年度も様々な広報・宣伝活動に取り組んでいることが伺えます。ただ、ブログによる情報発信は、指定管理者からの提案事項であるため、より計画的な更新に努め、効果的なチケット販売に結び付くPR活動を重ねてお願いします。・事業の実施について、「秋川キララホール レジデンシャル・アーティスト」制度による市内音楽家の育成と音楽活動による地域還元の取組は、今年度から実質的な活動が始まり、大変意欲的に取り組んでいることが伺えます。今後の事業発展や、現アーティストの更なる成長が実現できるよう期待します。・ワークショップやアウトリーチ、ランチタイムコンサートを実施することは、音楽ホールを訪れにくい子どもやお年寄りの次の来館への足がかりにつながる取組であると考えられます。今後も市民が気軽に音楽鑑賞できる機会を提供するとともに、賑わいのあるまちづくりを推進するように努めてください。 |